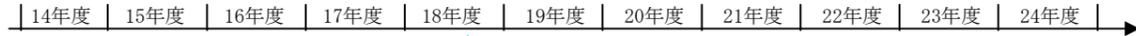


これまでの箕面市行財政改革の歩み

○ これまで箕面市では、平成8年度に行政改革大綱を策定し、それ以降絶え間なく行財政改革に取り組んできました。



① 箕面市経営再生プログラム

補強

② 集中改革プラン

③ 緊急プラン（素案）

① 箕面市経営再生プログラム（平成15年度～18年度）

【主な数値上の目標】

（平成19年度当初予算の目標）

- ① 経常収支比率 105%以下
- ② 基金残高 110億円確保
- ③ 職員数 6.4%削減

②,③ 達成!

「11の改革処方箋」（目標達成のための具体策）

- ・箕面市アウトソーシング計画に基づき、業務を外部委託し効率化
- ・適正な規模の行政組織をめざし、職員数を107名削減
- ・給与・手当のカット など

② 集中改革プラン（平成18年度～21年度）

【主な数値上の目標】

（平成22年度当初予算の目標）

- ① 経常収支比率 106.9%以下
- ② 基金残高 48億円確保
- ③ 職員数 6.6%削減

全て達成できず*

「14の処方箋」（目標達成のための具体策）

- ・公共施設についての指定管理者導入や大量の定例的業務等についてBPRを図ることで、さらなる効率化
- ・市の広報紙等を使って広告を募集し、広告料による歳入確保 など

* 緊急プラン（素案）を実施しなかった場合で試算

③ 緊急プラン（素案）（平成21年度～24年度）

【主な数値上の目標】

（平成25年度当初予算の目標）

- ① 経常収支比率を100%以下
- ② 273億円の財源不足解消
- ③ 基金減少のストップ

②,③ 達成見込み!

「ゼロ試算」（目標達成のための改革のシミュレーション）

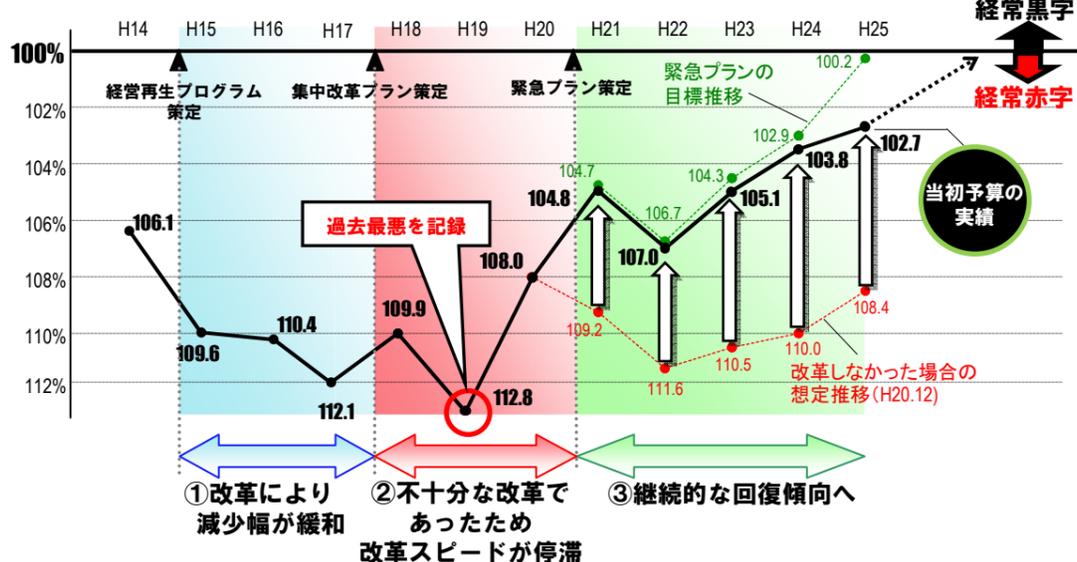
- ・さらなる人件費の削減
- ・競艇事業からの繰入金が増加
- ・外郭団体へ補助金削減 など

「さらなる内部改革」（目標達成に不足分をねん出する具体策）

- ・アウトソーシング推進による人件費削減
- （例）燃えるごみ収集委託の拡大、学校調理業務委託の拡大
- ・複数施設の管理業務を総合一括委託化することによる委託料の削減 など

改革の成果

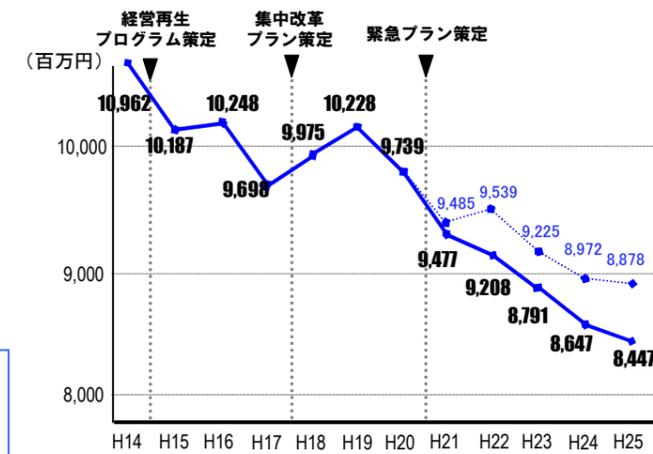
◆ 経常収支比率について



◆ 経常経費について（当初予算ベース）（点線部分は緊急プラン策定時の想定推移）

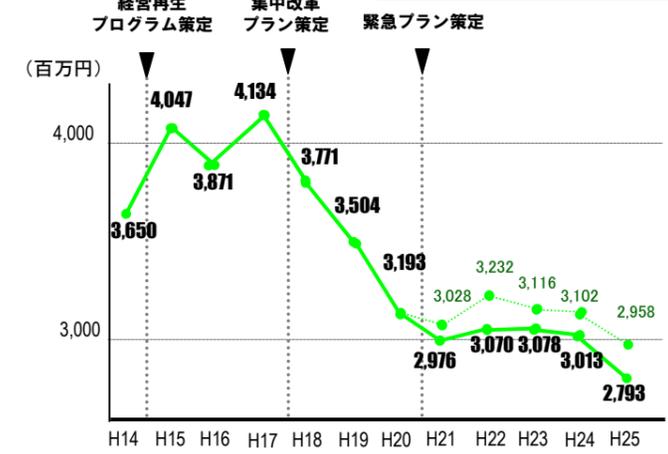
参考資料 1-1

(1) 人件費



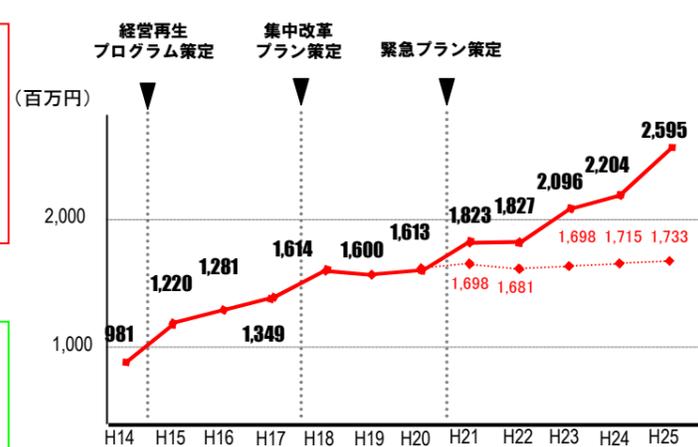
これまでの改革でおよそ **22.9% (25.2億円)** 削減

(2) 公債費



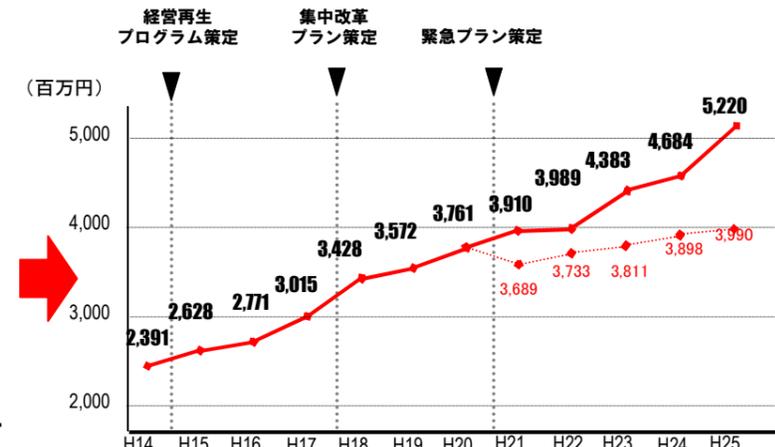
これまでの改革でおよそ **23.5% (8.6億円)** 削減

(3) 扶助費



ただし扶助費についてはH14と比較して **165.5% (16.1億円)** 増加
緊急プランの想定よりも **8.6億円** 増加

(4) 扶助費を含む社会保障関係費

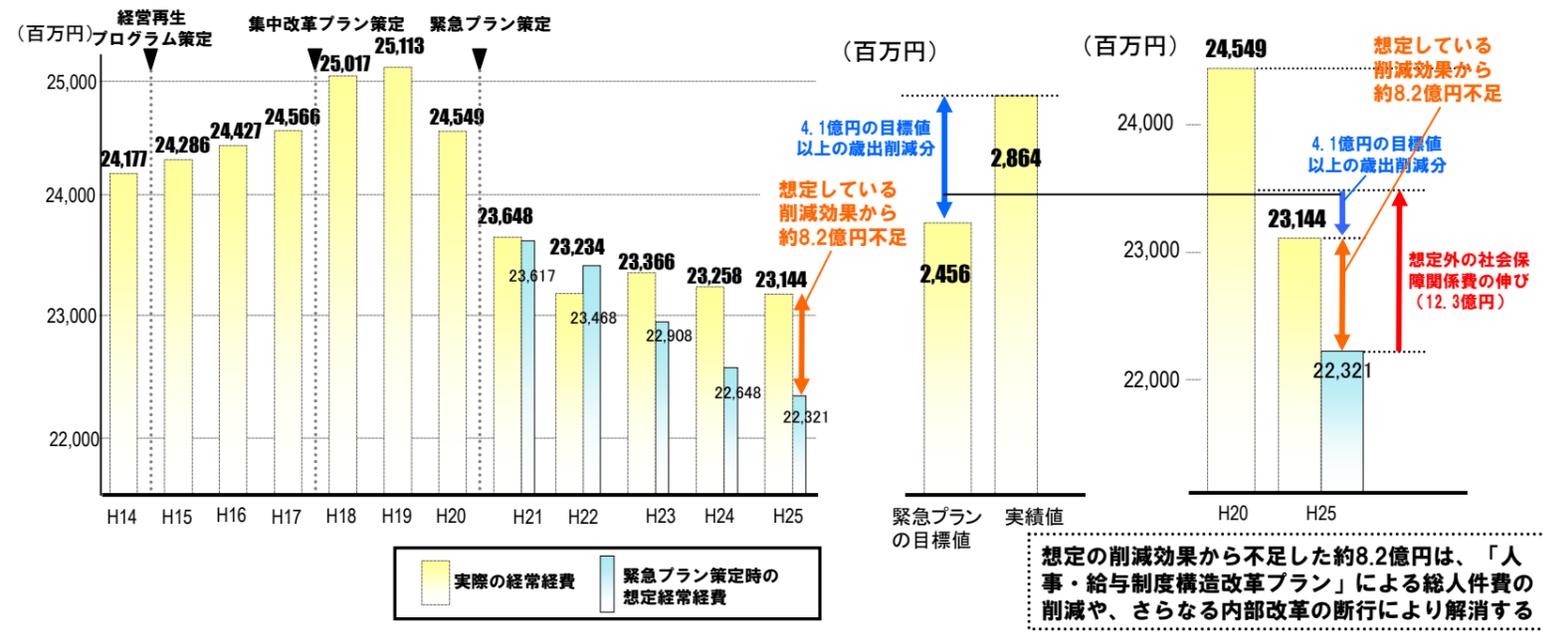


扶助費を含む社会保障関係費はH14と比較して **118.4% (28.3億円)** 増加
緊急プランの想定よりも **12.3億円** 増加

※平成25年度における削減額の目標値と実績

※H20とH25の比較

(5) 経常経費総額



想定している削減効果から不足した約8.2億円は、「人事・給与制度構造改革プラン」による総人件費の削減や、さらなる内部改革の断行により解消する